

うじたわらやまてせん  
**一般国道307号（宇治田原山手線）**  
 （宇治田原町ねだ 贄田みなみ～南）

一般国道307号は、滋賀県彦根市から宇治田原町を經由して大阪府枚方市に至る幹線道路であり、第二京阪道路や京奈和自動車道等と接続する京都府南部地域の重要な東西軸であり、第2次緊急輸送道路としての役割も担っております。

しかし、宇治田原町域では、朝夕には慢性的に渋滞が発生し、また平成25年の台風18号の際には土砂崩れで全面通行止めとなり、町内の交通機能が麻痺するなど、その代替機能の確保が求められており、平成35年開通予定の新名神高速道路の効果を活かした新たなまちづくりを支援するとともに、企業立地の誘導等による地域産業の振興に寄与します。

本事業により、供用済の宇治木屋線（南バイパス）から町道第1南北線までの区間を整備することにより、町道と一体となって国道307号を補完する道路網を形成するものです。

平成30年度は、用地測量、橋梁詳細設計を実施します。

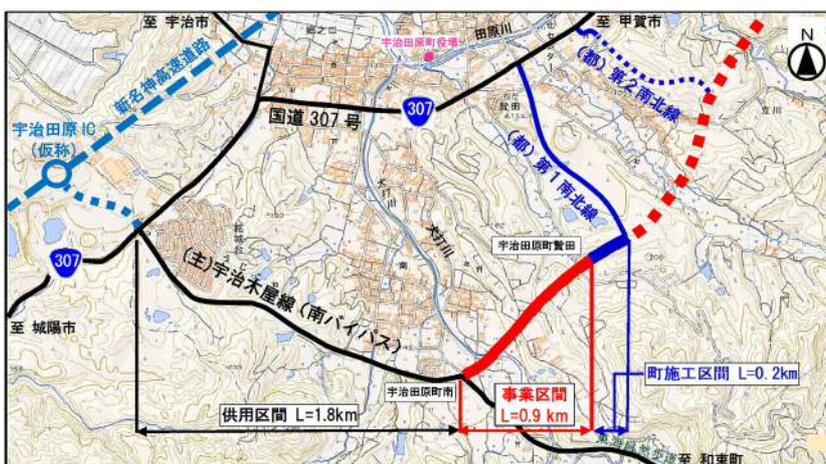
◎事業概要

全体計画	H29までの実績	H30計画
事業期間：H29～H33 事業延長：0.9km 幅員：6.5(10.5)m 総事業費：約11億円	事業概要：路線測量 詳細設計  事業費：0.2億円	事業概要：用地測量 橋梁詳細設計  事業費：0.4億円

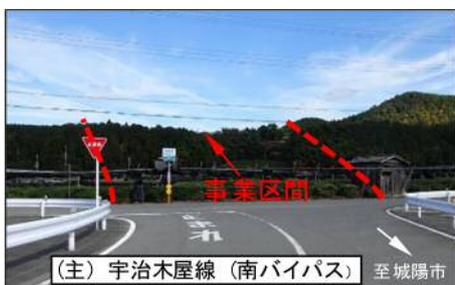
◎事業効果

- バイパス整備により、現道の渋滞を緩和し、安全で円滑な走行に寄与します。
- 高速道路へのアクセス向上により、新たなまちづくりに寄与し、地域産業の振興や交流人口拡大等が図られます。

**位置図**



**標準横断面図**



【事業区間の状況】



【国道の渋滞状況】



【被災の様子 平成25年9月】